

平成30年度当初予算 教育委員会主要施策の概要

◎予算編成のポイント

少子化やグローバル化などの教育を取り巻く環境が急速に変化しているなか、未来を拓く心豊かな人づくりに向けて、「石川の教育振興基本計画」に基づき、子どもたちの確かな学力の育成、教員の資質能力の向上、生涯学習の振興、文化財の保存・活用などの諸施策に積極的に取り組む。

◎重点主要施策の概要

- 子どもたちの確かな学力を育成するため、学力向上に向けた中長期指針である「いしかわ学びの指針12か条」に基づき、生徒の主体的・協働的に課題を解決する能力の育成や、組織的な指導力の向上を図る。
- 「高等学校「学びの力」向上アクションプラン」に基づき、校種の特性や生徒の学力、進路などに応じたきめ細かい学力向上対策を図り、生徒一人ひとりの資質・能力を高めるとともに、企業や高等教育機関と連携した実践的なキャリア教育の推進などにより、地域の活性化に貢献できる人材の育成を図る。
- 教員の世代交代が急速に進むなか、本県の教育力の維持・向上に向け、若手教員の早期育成から中堅教員の資質向上、次代を担う管理職の養成、再任用教員を活用した優秀な人材の育成・確保まで、それぞれのキャリアステージに応じた研修体制を構築し、石川ならではの「教職人材育成サイクル」を確立する。
- 教職員の長時間勤務が大きな課題となるなか、教職員が心身の健康を保ちながら教材研究・授業準備や子どもたちと向き合う時間を十分確保するため、教職員の多忙化改善に向けた取り組みを進める。
- 家庭や地域の教育力の向上のため、学校・家庭・地域が連携・協力した取り組みの推進により、社会全体で教育力の向上を図る。
- 本県の個性豊かで多様な文化財を大切に保存するとともに、金沢城の調査研究や「いしかわ歴史遺産」の認定を進め、文化財の活用と魅力発信などに取り組む。

平成30年度当初予算 教育委員会主要施策の概要

◎ 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
1 いしかわに誇りと愛着を持ち、世界と地域に貢献する人材の育成		
(1) ふるさと石川に対する誇りと愛着の醸成		
・ ふるさと学習の充実	1,100	「ふるさとモット学び塾」の実施 史跡や偉人ゆかりの地で行う現地講座、小中学校出前講座、講座のインターネット配信など
・ 高校生人間力向上プロジェクトの推進	7,200	企業トップ等のインタビューDVDの作成 外部人材を活用した「自己表現ワークショップ」の実施
(2) 地域の活性化に貢献できる人材の育成		
・ 県内先進企業と連携した高校生のキャリア教育の推進	5,000	県内企業への訪問や企業人との意見交換による、県内就職を積極的に考える人材の育成 高等学校 25校(全日制普通科全校)
・ 地域交流による高等学校の活性化	2,000	小中学校と連携した「わかる授業」の実践研究と地域貢献活動を通じた学校活力の発信 高等学校 11校
(3) イノベーションを担う人材の育成		
・ 最先端かつ専門的な分野を学ぶ授業の実施	3,000	大学教授等の外部専門家による最先端分野の授業の実施 高等学校 10校
・ 中学生における理科教育の充実	1,600	中学生サイエンスチャレンジの開催など
・ いしかわ高校科学グランプリの開催	1,110	生徒の科学に関する興味・関心を高め、トップ層の応用力等を伸ばすための大会の開催など
・ 産学連携によるプログラミング教育の推進	3,000	⑨ 産業界・教育関係者による連絡協議会の開催 ⑩ 小・中学校の授業への専門家の派遣 高校生を対象としたプログラミング体験教室の開催 3会場
(4) グローバル人材の育成		
・ 小・中・高等学校を通じた英語教育の充実	6,000	⑪ 新学習指導要領を先取りした授業づくりの実践・研究 小・中学校 9校→18校 ⑫ 新たな大学入試制度に対応した指導法の研究など
・ スーパーグローバルハイスクールの推進	7,400	国際舞台で活躍できる人材を育成するための質の高いカリキュラムの推進 金沢泉丘高等学校
・ 高校生の海外留学の促進	1,800	海外留学を希望する高校生への奨学支援 20人
・ 外国語指導助手の配置	214,256	高等学校等 44人

◎ 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
2 学力を高め、社会の変化に対応できる資質・能力の育成		
(1) 確かな学力の育成		
・ 小・中学生の基礎学力調査の実施	10,600	基礎学力の到達状況の把握と指導法の検証改善 実施学年 小学校4・6年生、中学校3年生
・ いしかわ学びの指針12か条の推進	18,000	能動的学習スタイルの構築 5,000 千円 ⑩ 優れた指導法や優秀教員の指導技術などを集約した 映像資料の作成・配付 学力向上プログラムの推進 13,000 千円 ⑪ 学習意欲の向上に向けた実践事例の作成など
・ いしかわニュースーパーハイスクールの推進	5,500	思考力・表現力・判断力等を備え、将来、国際社会で活躍 できるリーダー的人材の育成 金沢泉丘、小松、七尾、金沢二水、金沢桜丘
・ 土曜日の教育活動の推進	5,911	地域の人材を活用した土曜学習の推進 6市町/57か所
・ きめ細かな指導体制の充実	—	小学校3・4年生の35人学級と習熟度別少人数授業の 選択制の実施 小学校5・6年生の習熟度別少人数授業の実施 学習指導の充実等を図るため、小中学校及び高等学校に 退職教員等を非常勤講師として配置
(2) キャリア教育・職業教育の充実		
・ いしかわ産業教育フェアの開催	3,500	学習内容や実習による製作品の展示、研究発表、 各種競技会、販売実習等
・ 産業界等と連携した専門人材の育成	8,500	企業・大学等と連携した職業に関する先進的・実践的な 取組の推進 4,000 千円 専門高等学校等 10校程度 生徒の長期型企業実習、専門分野の技術力・企画力を競う コンテスト等の実施 4,500 千円 高等学校 9校
・ 企業トップ講演会の開催	700	世界的規模で活躍する企業トップの講演の開催(2回)
(3) 特別支援教育の充実		
・ いしかわ版特別支援学校技能検定の実施	1,500	生徒の意欲向上や技能育成のための技能検定制度の実施 特別支援学校 7校2分校
・ 障害のある生徒のインターンシップの促進	1,900	行政、企業、学校等による総合的就労支援体制の整備 労働局、ハローワークと連携した雇用促進セミナーの 開催など

◎ 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
・ 高等学校における発達障害支援の充実	7,000	㊦ 発達障害アドバイザー(5人→8人)による学校生活の支援 ㊧ 発達障害キャリアアドバイザー(3人)による就労支援 ㊨ 定時制高校における通級指導教室のモデル実施
・ 小中学校における通級指導の充実	—	㊩ 教員の配置増による通級指導教室の拡大 66学級→72学級
3 豊かな心と健やかな体を備えたタフな人づくり		
(1) 心の教育・道徳教育の充実、人権教育の推進		
・ 道徳教育の推進	8,000	推進校における「考え、議論する道徳」の研究実践 小・中学校 30校(19市町)
・ 心の教育の充実	6,521	親子の手紙、グッドマナーキャンペーンの実施など
・ 人権教育の推進	12,041	学校・社会教育における人権教育・啓発の推進 指導者の研修、啓発資料等の作成・配付
(2) いじめ・不登校等への取組の充実		
・ いじめを見逃さない学校づくりの推進	9,730	いじめ対応アドバイザーの派遣など
・ 学校におけるカウンセリングの強化	141,491	㊪ スクールカウンセラー等の配置拡充 小学校140→170校、中学校82校、 義務教育学校2校、高等学校21校
・ 不登校児童生徒の学校復帰支援	6,792	やすらぎ教室の運営など
・ 生徒指導・支援体制の充実	20,338	スクールソーシャルワーカーの配置 22人
・ インターネット等の適正利用の推進	2,981	スマートフォン等インターネットの適正な利用と その危険性に関する指導、啓発の実施
(3) 体験活動の充実		
・ いしかわ子ども自然学校の実施	5,207	自然体験プログラムの実施
・ 海洋体験活動の実施	1,466	小中学生を対象とした海洋での自然体験活動などの実施
(4) 健康や体力をはぐくむ教育の充実・防災教育の推進		
・ いしかわっ子体力アップ推進プランの実践	400	全ての公立小中高等学校における「1校1プラン」の取組
・ 教職員や児童生徒の防災意識の向上	2,012	危機管理マニュアルの点検のための専門家の派遣など
・ 通学路の安全対策の推進	2,500	通学路安全対策アドバイザーの派遣など
・ 栄養教諭の計画的配置	—	㊫ 小・中学校 68人→72人

◎ 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
4 信頼される質の高い学校づくり		
(1) 教員の資質・能力の向上		
・ キャリアステージに応じた「いしかわ型 教員研修体制」の構築	105,602	若手教員早期育成プログラムの確立 4,500 千円 中堅教員の教科指導力、マネジメント力の強化 11,400 千円 初任者研修、管理職研修など 79,302 千円 いしかわ師範塾による即戦力となる人材の育成・確保 10,400 千円
・ 教職員の多忙化改善に向けた取り組み	58,976	学校現場の業務改善の推進 4,500 千円 モデル校における改善に向けた取組の実践・検証と 成果の普及 部活動指導員のモデル配置 48人 12,500 千円 スクール・サポート・スタッフのモデル配置 36,876 千円 30人 地域の学校への理解・協力の推進 3,100 千円 地域住民等の参画による地域と学校との連携・協働モデル づくりへの支援、理解促進リーフレットの作成 市町や学校ごとに様式が異なる書類の電子化・標準化 2,000 千円 教職員課に業務改善推進グループを設置
・ 教職員健康保持対策の充実	57,572	定期健康診断など教職員の健康管理 45,765 千円 教職員のメンタルヘルス対策の推進 6,537 千円 精神疾患による休職者の職場復帰訓練の実施、復帰時の 勤務負担の軽減の実施 5,270 千円
(2) 教育環境の整備・充実		
・ 県立学校の施設設備の整備	1,487,538	大規模改修 1,358,538 千円 野々市明倫高等学校、小松特別支援学校など7校 未使用校舎の解体 穴水高等学校 129,000 千円
・ 情報設備の充実	88,584	タブレット端末の整備などICT機器の充実
・ 高等学校就学支援金の支給	2,282,514	一定の年収未満の世帯の生徒の授業料に充当
・ 教育費負担軽減奨学金の支給	230,308	低所得世帯の高校生等に給付型の奨学金を支給
・ 修学援助の充実(育英資金特別会計)	345,187	新規貸与枠400人
・ 特別支援学校への就学援助	269,973	保護者の負担軽減
5 学校、家庭、地域が連携・協力した、社会全体による 教育力の向上		
・ 家庭教育の充実	16,840	親学び講座「肝心かなめの1年生塾」の開催支援 親学びの冊子作成 780 千円 電話相談等の実施、テレビ番組の放映 16,060 千円

◎ 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
・ 放課後子ども教室の設置支援	7,857	放課後等における学びや体験の場の提供 10市町/66か所
6 生涯にわたり学び続ける環境づくり		
・ 県民大学校の充実	39,519	教養・専門講座、「ファミリー・カレッジ in 本多の森」の開催など
・ 図書館マルチ検索・予約システムの運営	28,716	県内公共図書館の横断的検索システムの運営など
・ 第17回日本スカウトジャンボリーへの開催支援	59,800	会場整備に対する支援 37,000 千円 ⑩大会運営に対する支援 22,800 千円 会期 平成30年8月4日(土)～10日(金) 会場 珠洲市蛸島町「りふれっしゅ村鉢ヶ崎」
7 文化財の保存・活用		
・ 金沢城の調査研究	19,206	金沢城の総合的な研究の推進 7,281 千円 切石積石垣の確認調査、『金沢城編年史料』等の編纂など 基礎的調査の充実・発展 11,925 千円 金沢城下町の史料及び城内建造物等の調査など
・ 世界遺産登録に向けた取り組み	5,090	文化遺産学術調査委員会の開催等 1,090 千円 「石川県に世界遺産を」キャンペーン事業への支援 4,000 千円
・ いしかわ歴史遺産の認定と活用	1,234	文化財群の活用を図るためのストーリーの認定
・ ふるさと文化財調査の促進	900	市町の文化財建造物等に関する調査の促進
・ 有形文化財の保存	45,631	阿岸本誓寺本堂の屋根葺替 本多政重・政長関係資料の保存修理など
・ 伝統的建造物群保存地区の保存	12,951	金沢市、加賀市、輪島市、白山市
・ 史跡名勝天然記念物の保存	15,083	寺家遺跡の公有地化 真脇遺跡の史跡公園の整備など
・ 埋蔵文化財発掘調査の促進と公開・活用	1,118,969	埋蔵文化財緊急発掘調査の促進 1,110,906 千円 古代ふれあい体験の促進等 8,063 千円 ⑩市町と連携した「まいぶん博士」認定事業の実施など
8 ライフステージに応じたスポーツ活動の充実		
・ 東京オリンピック・パラリンピックを見据えた取り組み		
・ オリンピック・パラリンピック教育の推進	3,700	オリンピックによる講演会、運動部活動の実技指導など 小学校2校、中学校2校、高等学校2校、 ⑩特別支援学校1校